

特別企画

記念特別講演

## 「ものづくり立国」が日本再生の基本

講師： 大関 東支夫 氏（(社)全国技能士会連合会 会長）

会員数10万人を誇る全国技能士連合会会長の大関氏は、講演で連日全国を飛び回り、肌で日本のものづくりの置かれた現状を感じ取られています。今日の技能者の現状、技能伝承の重要性、変化する社会ニーズに合わせた就職に結びつく教育訓練の重要性、など多様な話題を通して、ものづくりの視点から、元気のない日本を再生するために大関氏が提唱される効果策について、ご講演いただきます。私達にとって大変興味深い内容です。

日時 平成24年 9月21日（金）  
15:00～16:30

場所 神奈川県立産業技術短期大学校  
本館棟4階 大教室（F会場）

現在の役職

- ・(社)全国技能士会連合会会長
- ・全技連マイスター会会長
- ・東京都技能士会連合会会長
- ・関東信越社会保険医療協議会会長代行
- ・関東信越社会保険医療協議会東京部会長
- ・東京都私学審議会委員・第一部長
- ・(公益)暴力団追放運動推進都民センター監事
- ・(株)セノン 監査役（非常勤） 他



(社)全国技能士会連合会会長 大関東支夫氏

講演要旨

戦後、奇跡的な復興を遂げた日本経済。これを基本から支えてきたものは日本の優れた「ものづくり技術」である。

いま、そのものづくりが最大の危機を迎えている。1985年のプラザ合意以降続く円高基調により、多くの生産現場が日本から消えた。高度な部品工場が残されていた東北地方も東日本大震災により壊滅的な打撃を受け再構築される気配もない。

モノは安ければ良いという価格競争の世界に移った。ものづくりの原点は品質競争。領土も国民の安全も守れなくなった国家。将来展望のない日本。これでよいのか。日本を再生させる奇跡の道はないのか。いまこそ「ものづくり立国」を国策の柱にするときではないか。ものづくりの視点からみなさんと考えてみたい。